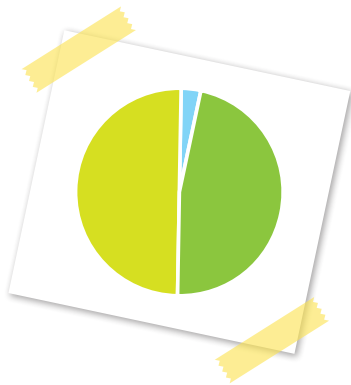


みんなと考える 「いま」と「みらい」

とうきょう こども アンケート 2024 年

東京都に住む**中学2年生、17 歳**の人が答えた
アンケートの結果です。



20 年後に
叶えたいことは？



何に悩んでいる？



相談する相手は？



「とうきょう こども アンケート」について

2024年5月に、東京都に住んでいる中学2年生、17歳（高校2年生にあたる年齢）に、日々の暮らしや悩み、困りごとについて、アンケートをお願いし、中学2年生は849人、17歳は995人から回答をいただきました。

東京都では、このアンケートの結果をもとに、皆さんの気持ちや願いを大事にして、いろいろな政策や取組を進めていきます。

このパンフレットでは、アンケートの結果を一部紹介します。都内の中学2年生や17歳の皆さんはどのように過ごしているのでしょうか。

目次

アンケート回答者について	3ページ
「東京」について	4～5ページ
今の「自分」の気持ち	6～7ページ
「学校」について	8～9ページ
「地域」や「居場所」について	10ページ
「悩みごと」について	12～13ページ
「将来」について	14～18ページ
「東京都こども基本条例」について	19ページ

次のページ以降のグラフや表では、中学2年生、17歳それぞれのアンケート回答人数に対する回答比率（％）で、表示をしています。

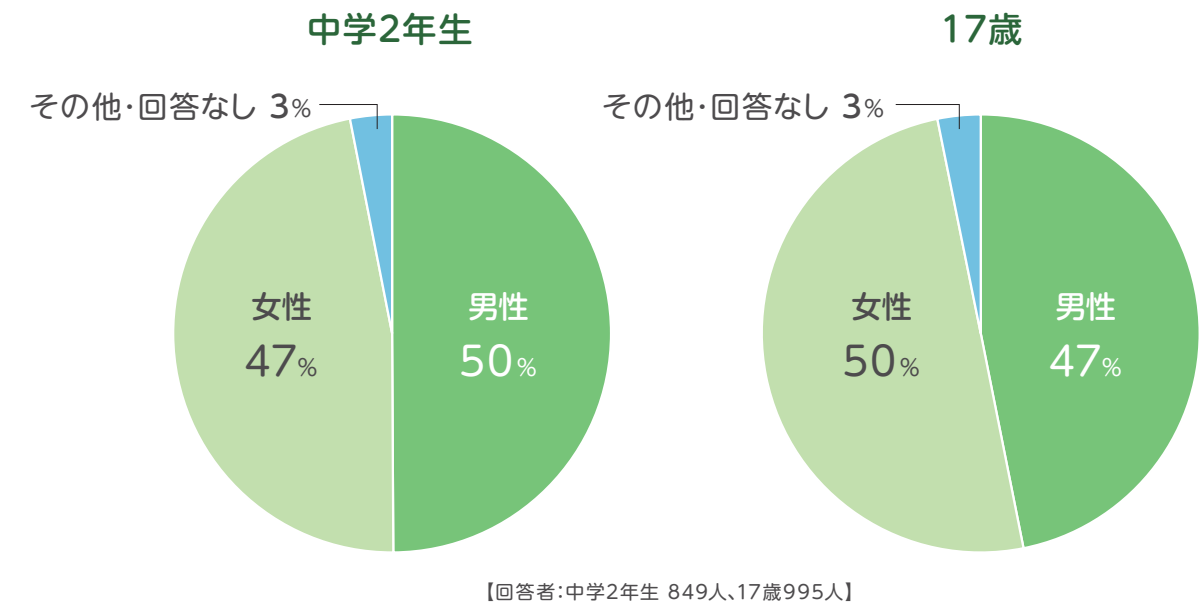


「とうきょう こども アンケート」の回答者は どんな人たち？

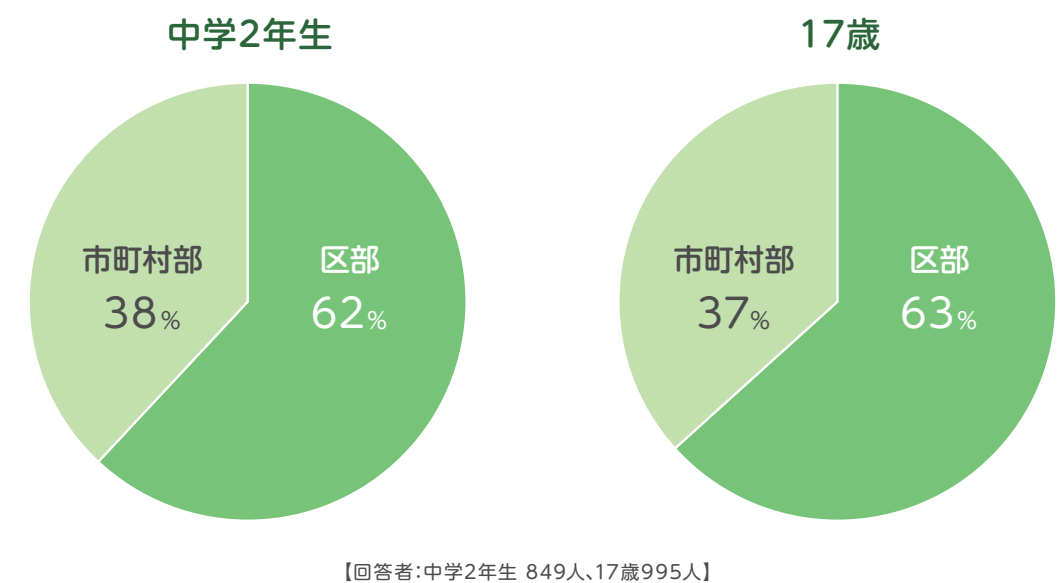


* 17歳は高校2年生の年齢にあたりますが、高校以外の学校に通っている人や、仕事をしている人もいるため、「17歳」という表記にしています。

【性別】



【住んでいる地域】



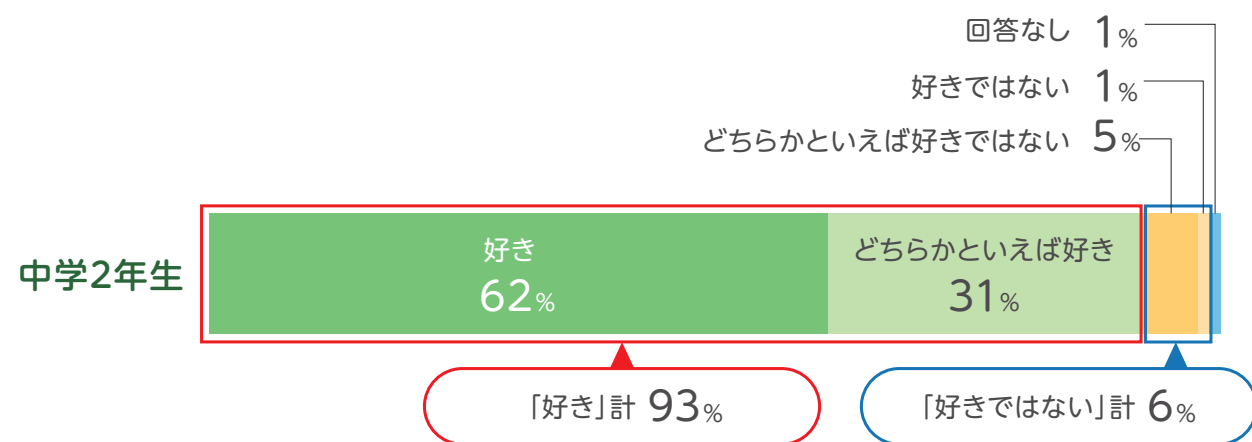
中学2年生、17歳ともに90%以上の人々が東京が好き。
東京が好きな理由は
施設の数と交通の便が上位に。



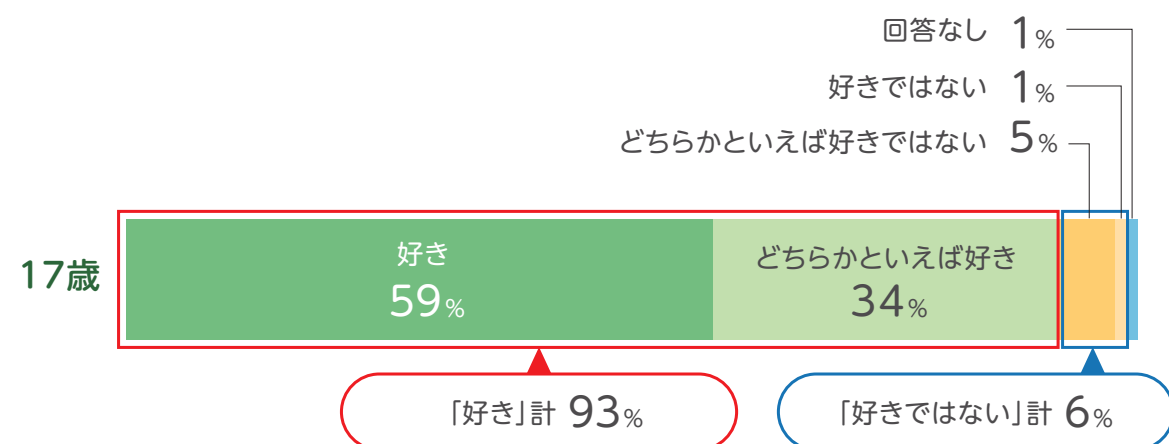
東京が「好き」と「どちらかといえば好き」の合計は、中学2年生、17歳ともに93%でした。

「どちらかといえば好きではない」と「好きではない」の合計は、中学2年生、17歳ともに6%でした。

Q あなたは東京が好きですか？



【回答者：中学2年生 849人】



【回答者：17歳 995人】



東京が「好き」または「どちらかといえば好き」と回答した人が選んだ理由を見てみましょう。

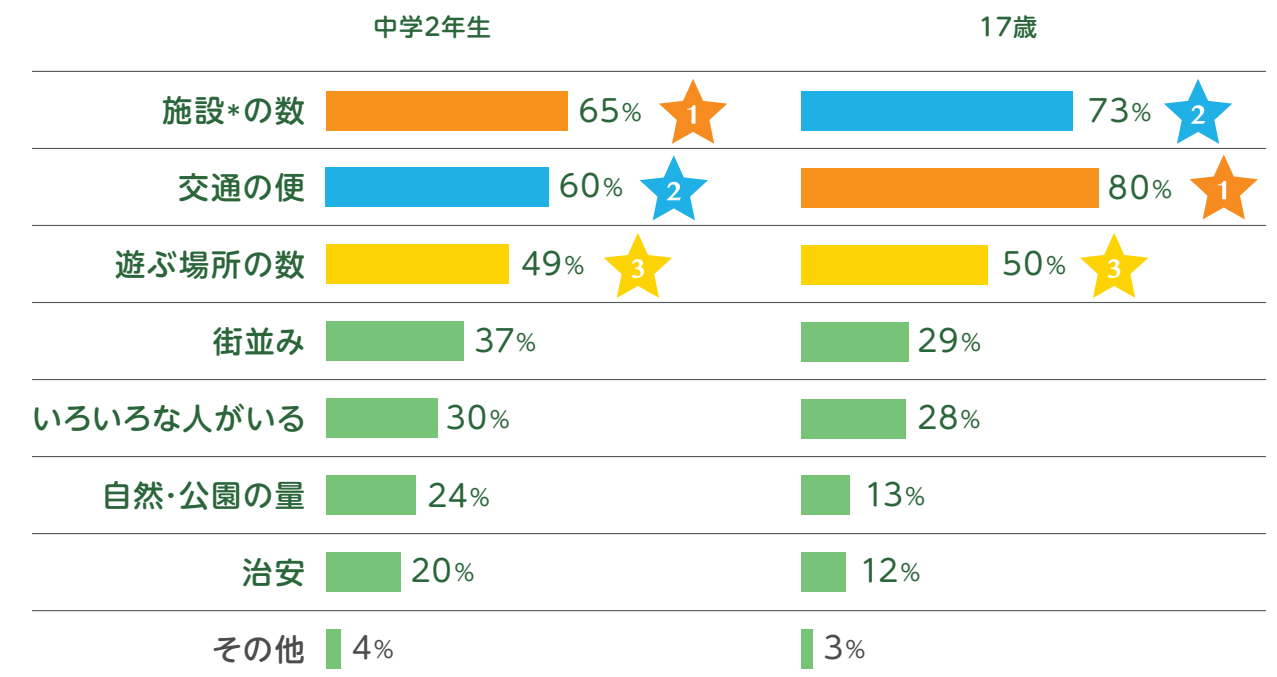
一番多い回答は、中学2年生では「施設の数」で65%、17歳では「交通の便」で80%でした。中学2年生、17歳ともに「施設の数」「交通の便」「遊ぶ場所の数」が上位です。

いろいろな施設や遊ぶ場所があり、電車やバス等の交通手段が豊富なことが東京の良いところだと感じているのかもしれません。

東京都では、皆さんの意見を聞きながら、東京をもっと好きになってもらえるように、取組を進めていきます。

Q 東京が好きな理由は？（複数回答可）

「東京が好き」と答えた人のうち…



*「施設」は、公共施設・商業施設・飲食店などです。

【回答者：中学2年生791人、17歳925人】

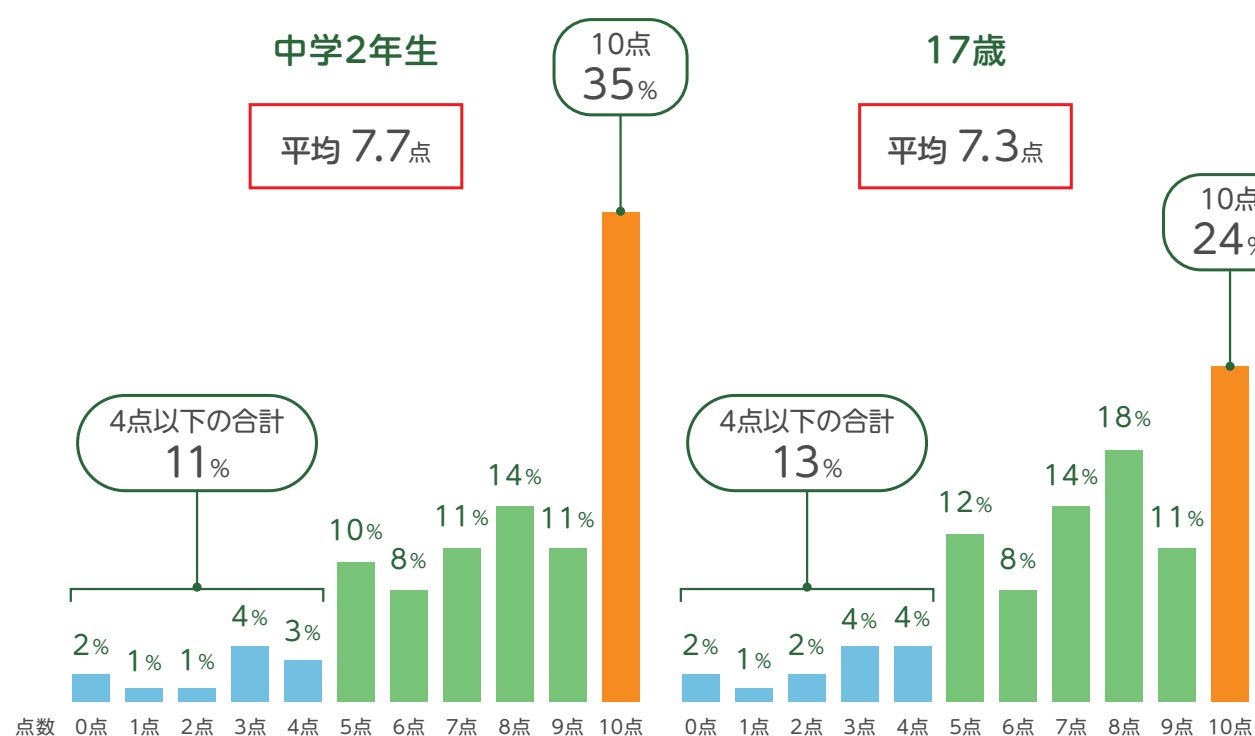
中学2年生と17歳は今、どんな気持ちで過ごしているの？

「今の自分は幸せだ」と聞かれたとき、自分の気持ちがどれくらいあてはまるのか、0～10点の間の点数で答えてもらいました。

中学2年生では、「10点」と答えた人が最も多く、35％となっています。平均は7.7点で、4点以下の人は11％います。

17歳でも「10点」が24％で一番多く、平均は7.3点で、4点以下の人は13％います。

Q 「今の自分は幸せだ」と聞かれたら、10点満点で何点？



【回答者: 中学2年生 849人、17歳995人】



今の自分について、他にも同じように10点満点でどのくらいあてはまるのか聞いていますので、平均点で紹介します。

平均点が最も高かった項目は、中学2年生、17歳ともに「勉強、仕事、趣味など、何か夢中になれることがある」でした。

一方で、平均点が最も低かった項目は、中学2年生では「今の自分が好きだ」、17歳では「自分は他人から必要とされている」でした。

Q 今の自分について、どのくらいあてはまる？

(10点満点での平均値)

	中学2年生	17歳
勉強、仕事、趣味など、何か夢中になれることがある	8.4点	7.8点
毎日たくさん笑っている	8.0点	7.5点
今の自分は幸せだ	7.7点	7.3点
人生を楽しんでいる	7.5点	7.0点
今の自分の生活に満足している	7.4点	6.8点
自分には、夢や目標がある	7.1点	6.9点
自分は他人から必要とされている	6.6点	6.2点
今の自分が好きだ	6.5点	6.3点

平均点が最も高いもの

平均点が最も低いもの

【回答者: 中学2年生 849人、17歳995人】

東京都では、できるだけ多くの人に、「今の自分が幸せだ」と感じてもらえる環境をつくる大切だと考えています。皆さんが前向きな気持ちで過ごしていけるように、政策や取組を考え、実行していきます。

学校での居心地が良い人は多いけど、そうでない人もいるみたい。
自分の意見は言えるけど、取り入れられるかは…？

学校生活について聞いてみました。

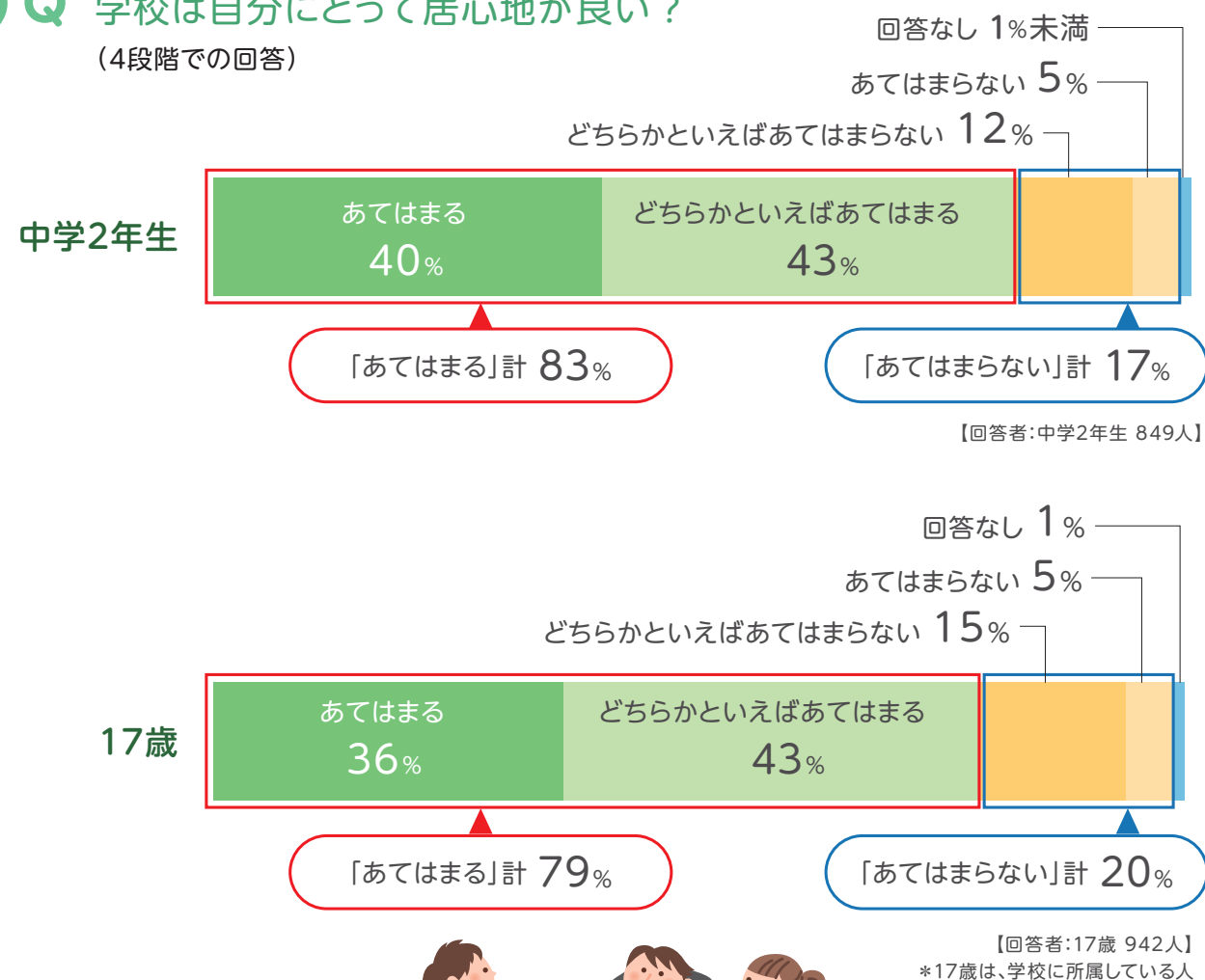
学校は自分にとって居心地が良いと回答した人（「あてはまる」計）は、中学2年生で83%、17歳では79%でした。

多くの人にとって学校は居心地が良い一方で、そうではないと回答した人（「あてはまらない」計）も、中学2年生で17%、17歳で20%います。

東京都では、毎日通う学校が皆さんにとってより居心地が良くなるように、取組を進めています。

Q 学校は自分にとって居心地が良い？

（4段階での回答）



学校は自分にとってどんなところか、7つの項目について聞きました。

中学2年生では「学校で学んだことは自分の将来や人生にとって役に立つ」、17歳では「自分のことを自分で決められる」との回答が最も高く、いずれも85%でした。

一方で、「規則や運営に対しても自分たちの意見が採用される」は、中学2年生で59%、17歳で51%と、7つの項目の中では一番低い比率となりました。

学校では、自分で物事を決める、意見が言える環境はあるようですが、規則・運営など学校全体に対する意見が採用された経験がある人は、まだ多くないようです。

Q 学校はどんなところ？

（「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の合計、
※のみ「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計）

	中学2年生	17歳
学校で学んだことは自分の将来や人生にとって役に立つ※	85%	83%
自分のことを自分で決められる	83%	85%
自分の意見が言える	82%	78%
安心して相談できる先生や職員がいる	77%	75%
自分の意見が採用される	74%	66%
規則や運営に対しても自分たちの意見を言える	65%	60%
規則や運営に対しても自分たちの意見が採用される	59%	51%

□ :7項目の中で最も高いもの

□ :7項目の中で最も低いもの

【回答者:中学2年生 849人、17歳942人】
*17歳は、学校に所属している人



自分の住む街に、遊ぶ場所・気持ちよく
過ごせる場所はたくさんあるけど、
安心して遊べるのは自分の家。



自分が住んでいる街について、「遊ぶ場所や気持ちよく過ごせる場所がたくさんある」と思う人は中学2年生で85%、17歳で76%と、80%前後いました。

一方で、安心して遊べる場所は、中学2年生、17歳ともに、「自宅」が93%で一番多くなりました。「図書館」「児童館」など地域にある場所は少なく、17歳では2位が「娯楽施設」、3位が「インターネット空間」となりました。

東京都では、皆さんが自分の住む街で安心して過ごせるよう、皆さんの声を聴きながら遊び場、居場所づくりに取り組んでいきます。

Q あなたが住んでいる街はどのようなところですか？

(「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計)

	中学2年生	17歳
遊ぶ場所や気持ちよく過ごせる場所がたくさんある	85%	76%

【回答者：中学2年生 849人、17歳 995人】

Q 安心して遊べる場所はどこですか？（複数回答可）

	中学2年生	17歳
自宅	93% ★	93% ★
公園	48% 2	26%
友達の家	44% 3	35%
祖父母・親戚の家	42%	31%
娯楽施設*	38%	51% 2
学校の校庭・グラウンド	34%	22%
インターネット空間*	33%	39% 3
ショッピングモール	31%	31%
図書館	22%	17%
児童館	20%	8%
地域にある広場・空地	13%	9%
プレーパーク・冒険遊び場*	10%	4%
近所の路上	9%	7%
その他	2%	1%
安心して遊べる場所はない	1% 未満	1% 未満

*「娯楽施設」は映画館、カラオケ、ゲームセンター、ボウリング場など

*「インターネット空間」は、SNS、YouTube、オンラインゲームなど

*「プレーパーク・冒険遊び場」は、プレーリーダー（プレーワーカー）や地域のボランティアの方たちのもとで、普通の公園ではなかなかすることができない焚き火や泥遊び、木登りなどができる遊び場

【回答者：中学2年生 849人、17歳 995人】

ちょっと
ひとやすみ



今の中学2年生、17歳の人たちの様子を見て、
どんなことを考えましたか？

ここまでは、アンケートに回答してくれた中学2年生と17歳が、今感じていることや、学校生活などについて紹介してきました。

「みんなと同じだと思った」「自分はもう少し違うように思った」など、いろいろな見方や感想があったのではないのでしょうか。

ここで紹介しているデータは、あくまでアンケートに回答してくれた人たちの結果を数字でまとめたものです。実際には一人ひとり、生活環境や気持ちは異なりますが、現在の中学2年生、17歳の人たちの、おおよその傾向を知ることができます。



次のページからは、悩みや将来に向けた希望などを見ていきたいと思います。

中学2年生の悩みの中心は勉強。

17歳はこれに加えて進学、将来も悩みに…。

相談する相手は、家族や友達・先輩など。



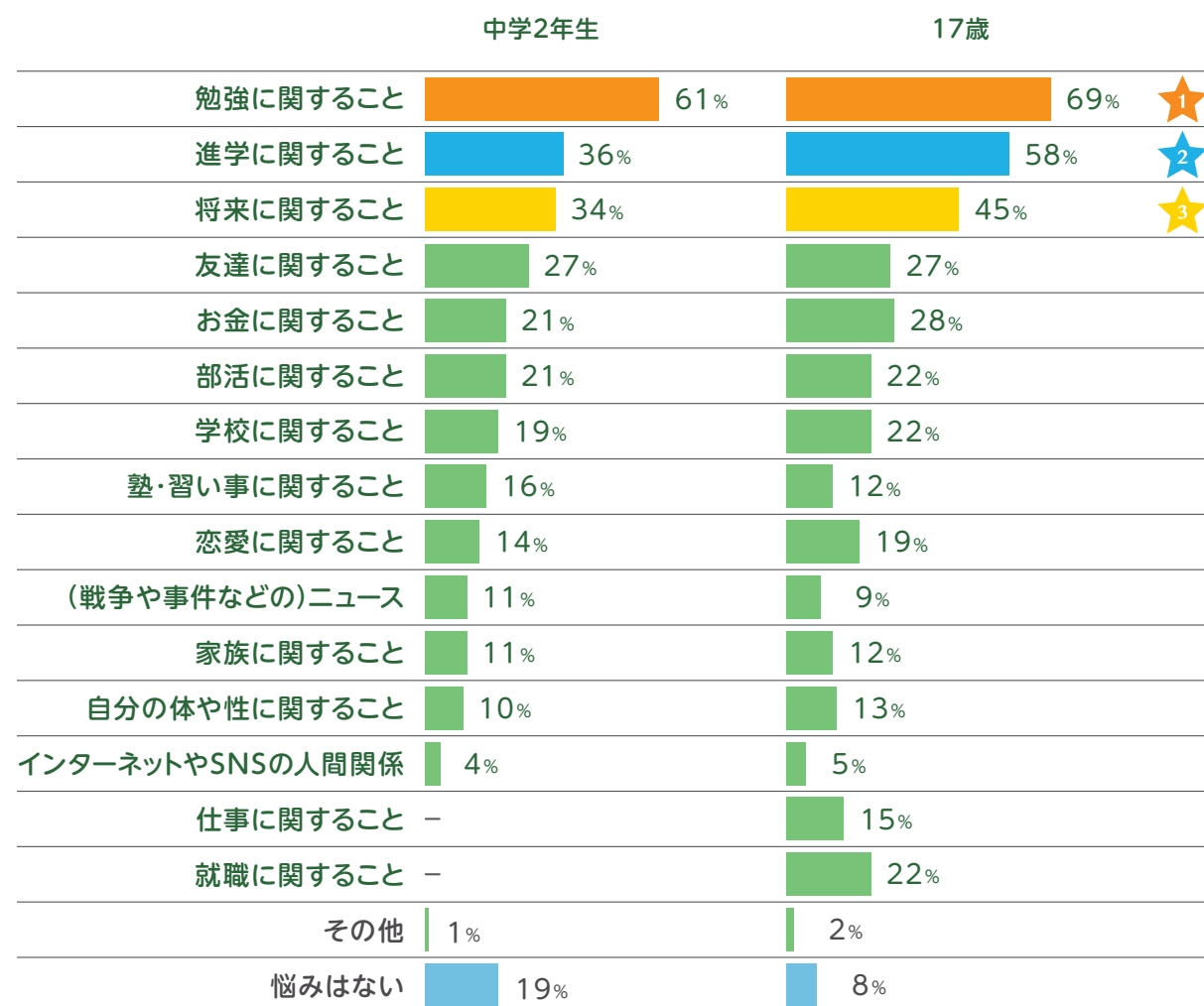
「今、悩んでいること」について聞きました。

中学2年生では、「勉強に関すること」が61％で最も多く、主な悩みとなっています。次に多いものは、「進学に関すること」「将来に関すること」が30％台でした。

17歳でも同じ項目が1～3位にあがっていますが、「勉強に関すること」が69％、「進学に関すること」は58％、「将来に関すること」は45％でした。

年齢が上がると、進学や将来などのことを考える場面が増えてくるようですね。

Q あなたは今、悩んでいることがありますか？（複数回答可）



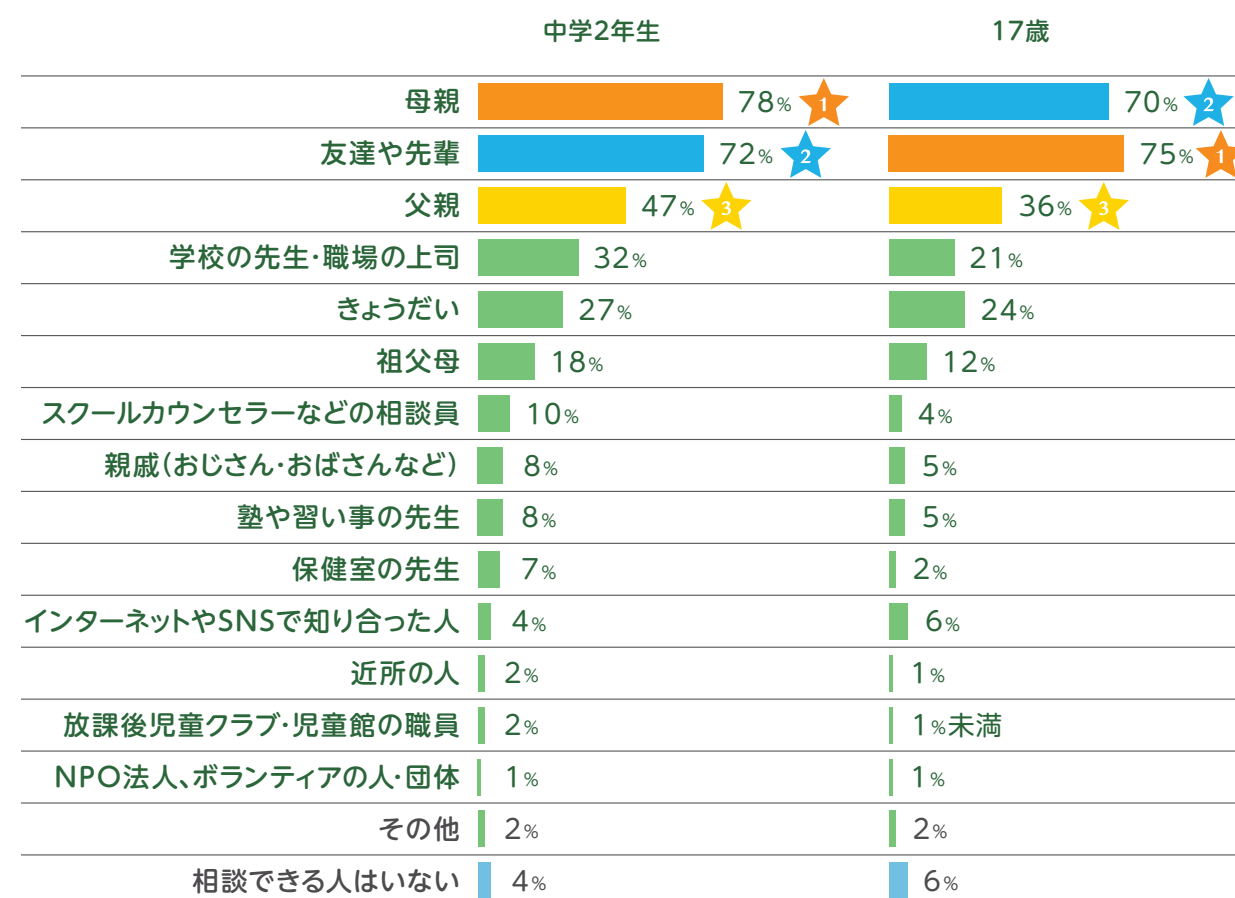
【回答者：中学2年生 849人、17歳 995人】



悩みごとの相談先を聞きました。

中学2年生、17歳ともに、「母親」「友達や先輩」が70％以上と多くなっています。「父親」が3番目に多く、中学2年生で47％、17歳で36％でした。

Q 困ったり悩んだ時に相談する相手は？（複数回答可）



【回答者：中学2年生 849人、17歳 995人】

家族や友達・先輩など、身近な人への相談が多いようですね。

もし、近くに相談相手がいなかったり、他の人に相談したい場合は、東京都の相談窓口もあります。

このパンフレットの最後のページに連絡先を載せていますので、見てみてください。

大学卒業後に働くことをイメージしている人は多い。
同時に、進路・将来の実現方法が分からない
という意見も。

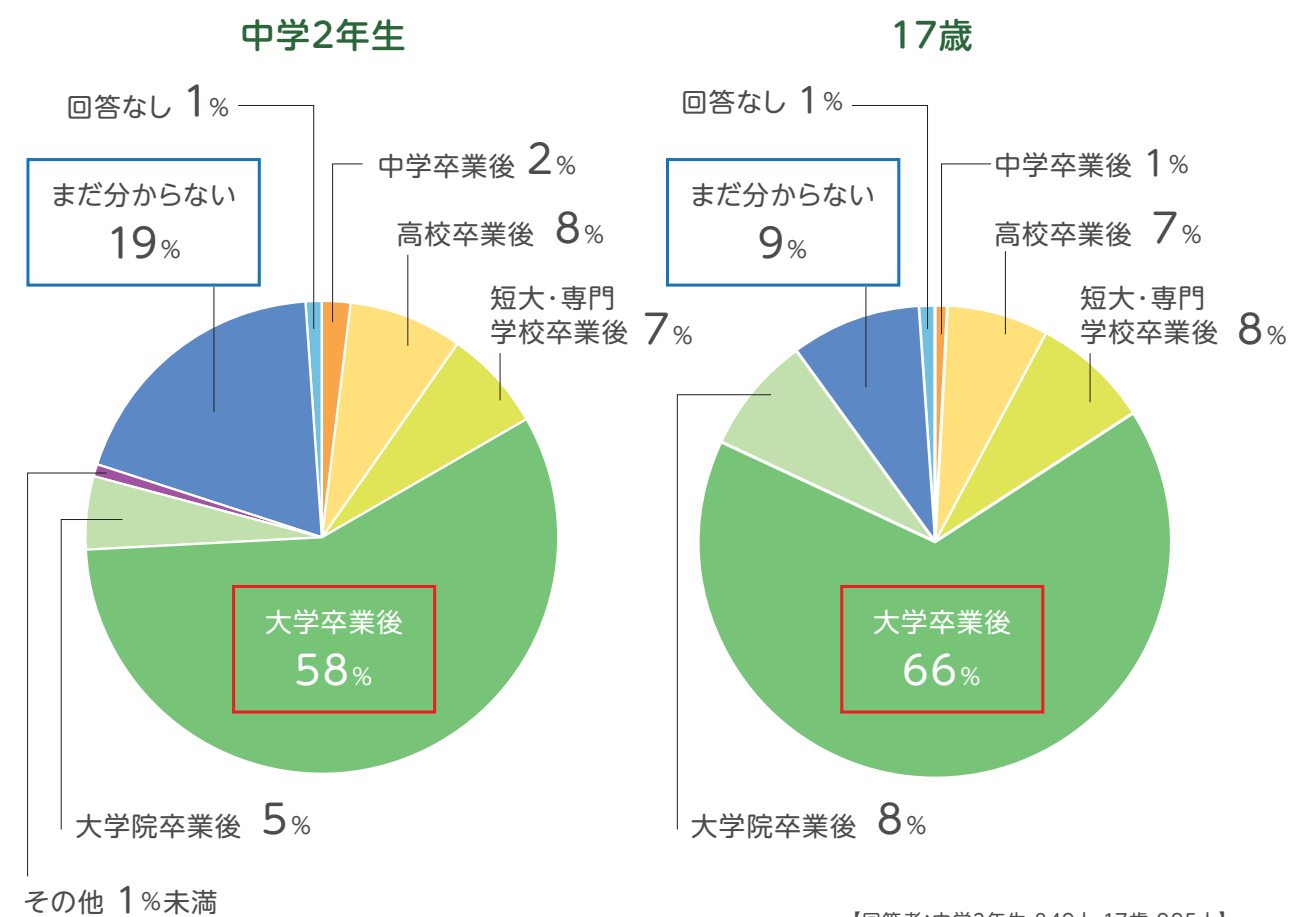


「働くこと」について、中学2年生と、17歳の回答結果を見てみましょう。

いつから社会に出て働くかについては、中学2年生では「大学卒業後」が58%と最多になりましたが、5人に1人は「まだ分からない」(19%)と答えています。

17歳では、「大学卒業後」が66%とさらに増え、「まだ分からない」は、中学2年生より少ない9%となっています。

Q あなたはいつから社会に出て働こうと考えていますか？



*17歳の「中学卒業後」には、すでに就労している人も含む

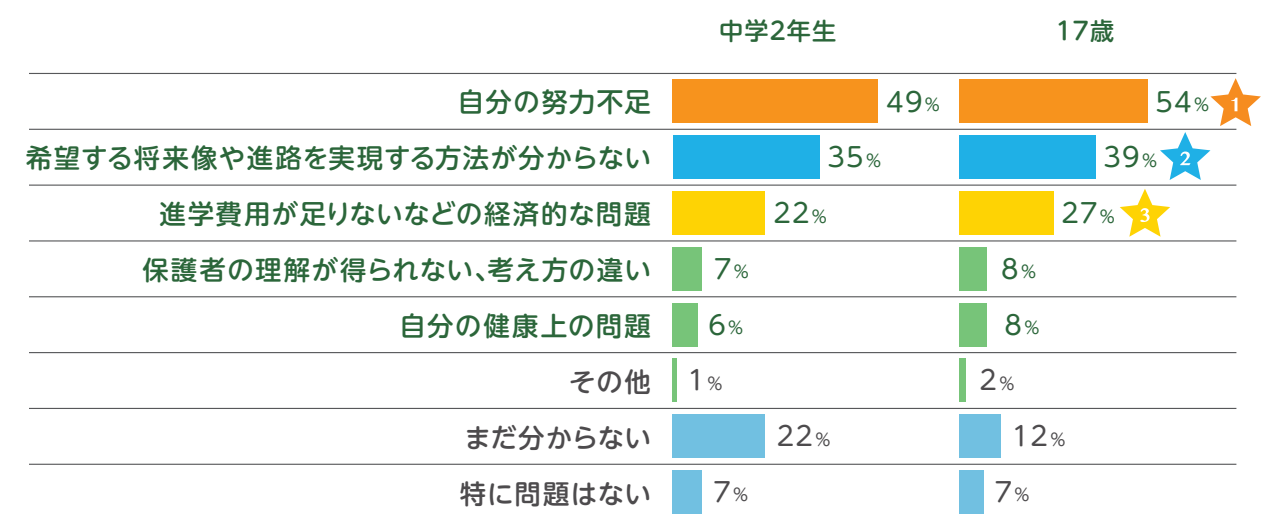


自分の描く将来像や進路について、どんな問題があるかを聞きました。

中学2年生、17歳ともに、「自分の努力不足」が最も多く、2人に1人が回答しています。「希望する将来像や進路を実現する方法が分からない」は2番目に多く、中学2年生で35%、17歳で39%でした。

3番目には「進学費用が足りないなどの経済的な問題」があがっています。

Q 自分の描く将来像や進路での問題は？ (複数回答可)



【回答者: 中学2年生 849人、17歳 995人】

悩みの相談先トップ3 (▶詳細はP13)

中学2年生、17歳ともに「母親」「友達や先輩」「父親」

13ページで紹介したように、悩みの相談先は家族や友達・先輩が多かったですが、将来の仕事や進路に関しては、学校の進路指導の先生や、公的機関へ相談するという方法もあります。このパンフレットの最後のページに東京都の相談窓口の情報を載せていますので見てみてください。

将来、社会のために役立つ仕事をしたい。
社会課題に関心があり、
未来の社会を良くする行動もしたい！

「社会に対する関心や意識」について、具体的な7つの項目でどう思うか聞きました。

「将来、社会のために役立つ仕事をしたいと思う」と答えた人が最も多く、中学2年生、17歳ともに80％以上にのぼっています。

2番目には「社会課題について関心がある」、3番目は「未来の社会を良くするために何か行動しようと思う」と70％前後の人が回答しています。

社会に対して、自分が何かできないかと考えている皆さんを、東京都も支援したいと考えています。

Q 次のことについてどう思いますか？
（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計）

	中学2年生	17歳	
将来、社会のために役立つ仕事をしたいと思う	81%	85%	★1
社会課題*について関心がある	71%	68%	★2
未来の社会を良くするために何か行動しようと思う	67%	65%	★3
ボランティアをしたいと思う	58%	57%	
機会があれば留学や他国で働いてみたいと思う	52%	58%	
自分の行動で社会を変えられると思う	44%	46%	
社会課題*について家族や友人と積極的に議論している	38%	41%	

【回答者：中学2年生 849人、17歳 995人】

*SDGs、環境問題、いじめや差別の問題など



ここで、海外のデータと比べてみたいと思います。

以下のデータは、日本を含む世界6カ国の17～19歳の人に対して、2024年2～3月に行われた調査と比較したものです。

東京の17歳は、諸外国に比べて社会課題についての関心は高いものの、人と議論したり、自分の行動が社会に影響を与えるといった感覚や、海外経験への希望については、低くとどまっているようです。

	とうきょう こども アンケート	18歳意識調査 (各国17～19歳対象)					
	17歳	日本	アメリカ	イギリス	中国	韓国	インド
社会課題について関心がある	68%	57%	62%	58%	82%	65%	63%
留学や他国で働きたい	58%	53%	72%	77%	73%	79%	76%
ボランティア活動に参加したい	57%	60%	76%	69%	90%	71%	79%
自分の行動で社会を変えられる	46%	46%	66%	56%	84%	61%	81%
社会課題について議論している	41%	51%	67%	66%	80%	63%	75%

【回答者：17歳995人】

【回答者：各国 1000人】

【参考】質問内容について

	とうきょうこどもアンケート	18歳意識調査
社会課題について関心がある	社会課題について関心がある	政治や選挙、社会問題について、関心がある
留学や他国で働きたい	機会があれば留学や他国で働いてみたいと思う	機会があれば留学や他国で就労してみたいと思う
ボランティア活動に参加したい	ボランティアをしたいと思う	ボランティア活動に参加したい
自分の行動で社会を変えられる	自分の行動で社会を変えられると思う	自分の行動で国や社会を変えられると思う
社会課題について議論している	社会課題について家族や友人と積極的に議論している	政治や選挙、社会問題について家族や友人と議論することがある

（出典）日本財団第62回18歳意識調査「国や社会に対する意識（6カ国調査）」
令和6(2024)年2～3月、インターネット調査にて、各国17～19歳男女1000人を対象に実施されたもの。
下記レポートの、P10、P15、P16より引用し、編集。
https://www.nippon-foundation.or.jp/app/uploads/2024/03/new_pr_20240403_03.pdf

上記調査で「同意」「どちらかといえば同意」と回答した割合と、とうきょうこどもアンケートで「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した割合を比較している。

20年後は、好きな仕事をしていたい。
家庭での役割分担は「男女で同じ」
と考えている人が多い。



東京都は、「東京都子ども基本条例」を通じて、
こどもの笑顔があふれる社会を実現していきます！

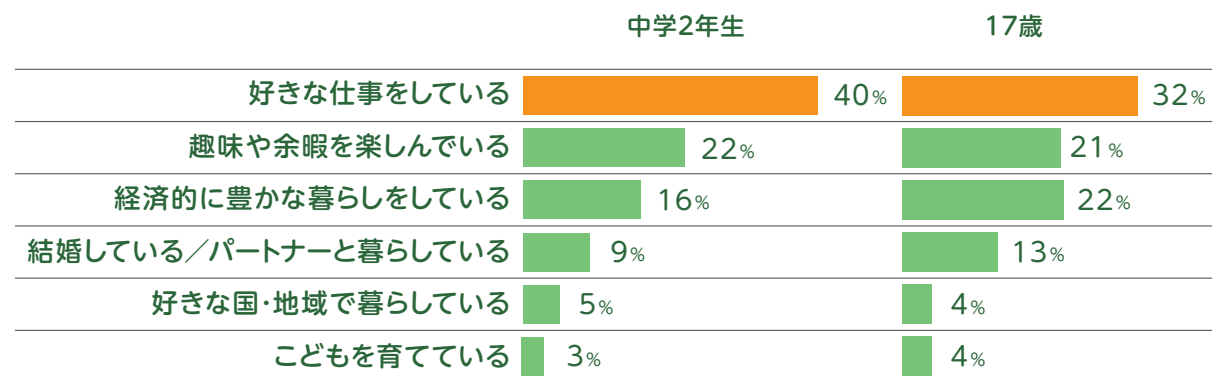
東京都
子ども基本条例

20年後の未来に思い描いていることを聞きました。

「好きな仕事をしている」が、中学2年生で40%、17歳で32%とそれぞれ最も多くなっています。

家庭での男女の役割分担については、中学2年生と17歳ともに、仕事・家事・育児は「男女で同じくらい担うべき」と回答する人が多かったです。しかし、仕事は男性、家事や育児は女性が担うべきという考え方は、女性より男性のほうが多い傾向が見られました。

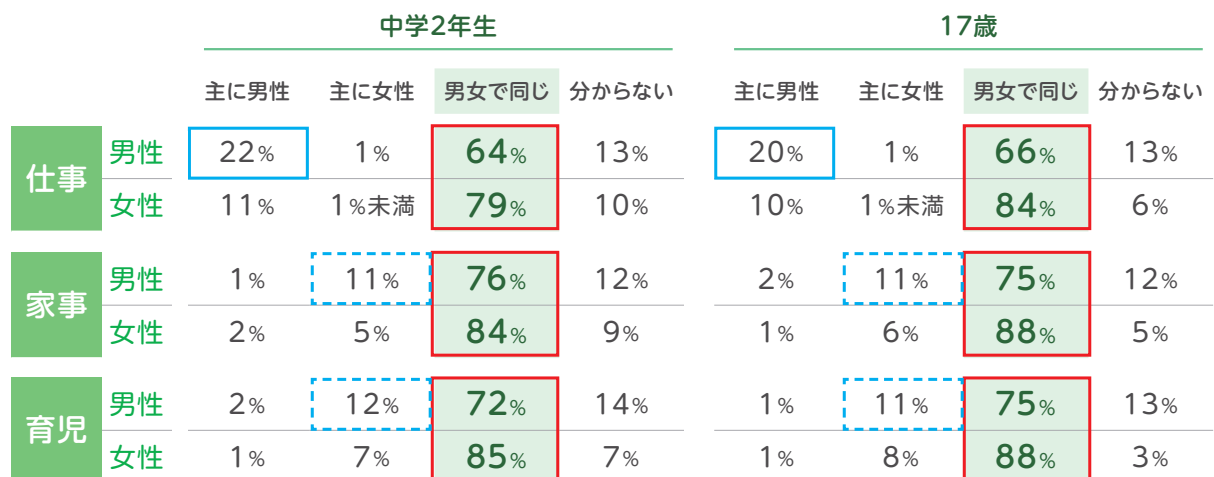
Q 20年後に一番叶えたいことは？（主な項目を抜粋）



【回答者：中学2年生 849人、17歳 995人】

Q 家庭での男女の役割分担についてどう思いますか？

（「主に男性が担うべき」か「主に女性が担うべき」か）

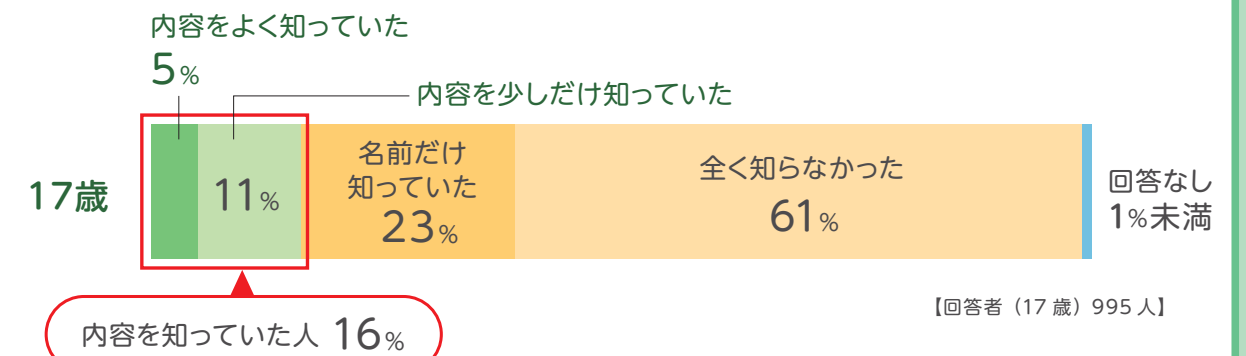
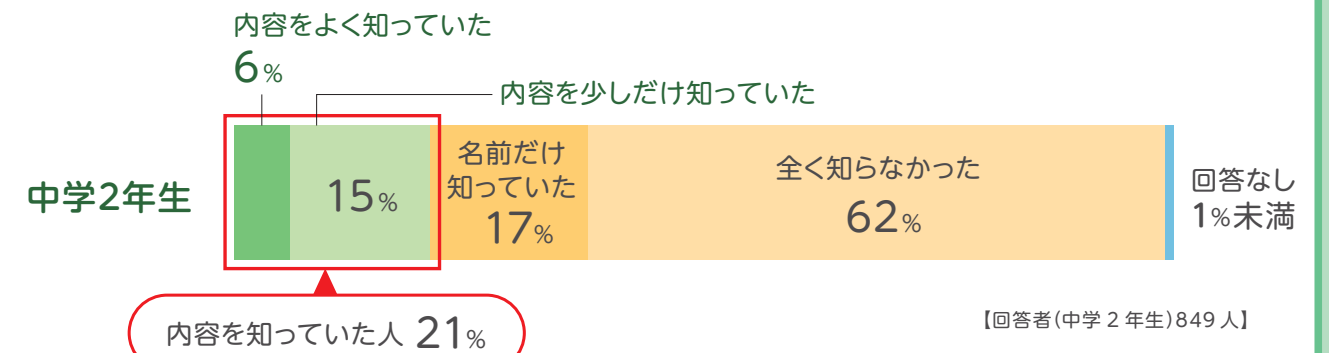


【回答者：中学2年生 男性428人、女性403人】

【回答者：17歳 男性471人、女性502人】

*「分からない」には回答なしも含む

Q あなたは「東京都子ども基本条例」について知っていましたか？



東京都子ども基本条例をもっと知ってほしい！

条例の内容を知っていた人は、中学2年生で21%、17歳で16%と決して多くはありません。

こどもの権利が大切にされ、みんなが幸せに過ごせる社会の実現に向けて、「東京都子ども基本条例」ができました。皆さんも社会の一員として、自由に意見を表明することができます。

東京都では、皆さんの身近な場所やSNSなどで皆さんの意見を聴いて、その声や思いを東京都のいろいろな政策や取組に生かしていきます。

条例の内容を知りたい人は次のページをぜひチェックしてください。



東京都から 皆さんへのメッセージ

東京都では、皆さんの意見を大切にして、
こどもの笑顔があふれる社会をつくれます。
皆さんが自分らしく健やかに成長できるように、
皆さんと一緒に考えながら、いろいろな政策や取組を行っていきます。

* 二次元コードを読み込むかクリックする(押す)と、それぞれのページが開きます。

こども未来アクション



東京都のこども
のための政策や
取組

相談窓口一覧

さまざまな悩みに対する
窓口一覧
(東京都こどもホームページ内に掲載)



性やからだ、こころの悩みに対する
窓口一覧
(TOKYO YOUTH HEALTHCARE内に掲載)



東京都こども基本条例

ホームページ



ハンドブック



こども編集者と
作成

中学生向け

解説動画

高校生向け



こども
クリエイターと
作成



このパンフレットについて、こちらから
意見や感想をぜひお知らせください！

